

プログラム名 (40字以内)	帰還困難区域の「街づくり」を考える。ー「復興」の現場に生きる人々の想いとともー		
団体名/所属	本学学生(活動指導教員:開沼博准教授)		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし(学部学生、大学院学生共に参加を歓迎する)		
活動期間	夏季休業期間中に断続的に実施する(詳細は「具体的な内容」に記載する)。	主な活動予定場所	福島県
プログラム実施の目的	復興における長期的な課題に対して理解を深めること。		
具体的な内容(800字程度)	【企画概要】 東日本大震災および福島第一原子力発電所事故から14年が経過した。原発事故によって住民の長期避難を余儀なくされた福島県双葉郡では、社会経済基盤に深刻な打撃を受けた。廃墟と化した街並みがメディアで報じられた記憶を持つ人も多いだろう。その後、除染やインフラ整備が進み、公営住宅や診療所、学校といった生活基盤の再建が進んできた。さらに、新たな産業の創出を目指した復興事業も展開され、地域の「復興」に向けた取り組みが着実に進行している。 一方で、人々の生活や生業の「復興」は依然として道半ばである。居住人口の回復が思うように進まず、採算性の低さによる事業再開の困難や、コミュニティ機能を担う人材不足といった課題に直面している。さらに、医療・介護・福祉、買い物、教育環境といった日常生活に欠かせない要素においても、多くの課題が山積している状況である。 福島の復興過程はその大規模さと複雑さゆえ、外部からはその実態が見えにくい。廃炉やALPS処理水といった大きな話題が注目される一方、地域で生きる人々の葛藤や日々の実践は埋もれがちである。また、震災から年月が経過するにつれ、福島について語られる機会そのものが減少している現状も懸念される。 本プログラムでは、今もなお町内に帰還困難区域が残る浪江町、双葉町、大熊町、富岡町を訪問し、現地で暮らす方々や行政担当者への聞き取りや参加者同士の議論を通じて、この地域の「復興の過程」を捉え直すことを目的とする。制度や政策といった外部からの復興に加え、地域で生きる人々の想いや主体的な取り組み、個々の生活や生業の再生に焦点を当てる。 「復興」の現場では、具体的にどのような取り組みが進められ、そこどのような想いが込められているのか、その背後にある課題や可能性を、現地の人々の視点に寄り添いながら探ることで、復興の現状をより深く考察する。これまで福島や復興・災害分野に関心がなかった人でも、現地で暮らす人々と直接顔を合わせ、その声に耳を傾けることで、新たな気づきや学びを得られるようなプログラムを目指したい。 【プログラムの魅力】 ・希望者は本プログラムで得た成果を研究に発展させることも可能である。これまでに、学部2年生で学会発表を行った参加者や、学会で受賞した参加者がいる。 ・現地調査や関係者へのヒアリング、グループワークを通じ、問いを立てる力や課題解決力など、学業や就職活動に活かせる実践的なスキルを身につけられる。 ・これまでの参加者は学部1年生から大学院生まで、幅広い専攻の学生がおり、多様なバックグラウンドを持つ人と交流しながら学ぶことができる。 【プログラム構成】 ・浪江町、双葉町、大熊町、富岡町の4町を対象として、現地視察および現地の方々へのヒアリング調査を実施する。 ・上記をもとにして、参加者同士で議論を行う。 ・自治体の方々等に対して、議論の成果をフィードバックする。 ※2022年度の当プログラムの様子は以下のURLよりご覧いただけます。 https://campus-map.jp/ut/report/087/ https://www.ii.u-tokyo.ac.jp/research/221004kainuma 【活動期間】 夏季休業期間中に断続的に実施する。現地活動(最終報告会含め3回、計7日程度を予定)に加え、東京大学およびオンラインにて議論を行う。 【スケジュール】(※暫定版) ・7/25(金): キックオフミーティング ・8/7(木)～8(金): 現地活動1回目 ・8/25(月)～27(水): 現地活動2回目 ・9月中: 議論を継続 ・10/3(金)～5(日): 現地活動3回目 最終報告会 ※活動内容や日時は参加者の希望、予定に合わせて柔軟に変更する。		
【総額】参加するための費用	90,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	50,000円程度		
【内訳】参加するための費用(交通費)	30,000円程度		
【内訳】参加するための費用(その他)	10,000円程度(現地活動費として)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		